

広報 まがりや 第54号・復刊第1号

令和2年7月号 発行 岩手南部森林管理署遠野支署

広報 まがりや 復刊

「広報まがりや」は、遠野営林署時代から発行されている当支署の広報紙で、昭和26年頃から年に1回程度発行され、支署に現存している昭和58年の第32号あたりを最後に休刊したようです。

その後、平成8年頃に復刊し、平成14年3月まで全53号を発行して休刊してしまいましたが、今年度18年ぶりに当支署の広報紙として再復刊いたします。

国有林の様々な話題を紹介するとともに、支署の記録として将来に残したいと考えています。遠野支署ホームページに掲載するほか、市役所や市民センターなどに、お届けしたいと考えていますので、ぜひ、手に取って御覧ください。



過去の広報まがりや

琴畑水源遊々の森で植樹

土淵小学校4年生



5月12日、遠野支署では、NPO法人遠野エコネット及び遠野市と協力して、遠野市の水道水源である「琴畑水源遊々の森」で、土淵小学校の4年生16人と一緒にミズナラの植樹を行いました。現地はかつて牧野として利用されていた国有林ですが、前述の三

者が締結した遊々の森協定により、市民による水源の森の再生活動のフィールドとなっています。子供達は、ササが根を張った土を慣れない鍬やスコップで一生涯懸命に掘って植穴をつくり、ミズナラの苗木に優しく土をかけて植えていきました。



植樹の後は、苗木がシカに食べられないよう保護チューブを取り



付けて、最後には苗木が渴かないように、琴畑川からバケツで水を汲んでかけてあげました。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために様々な行事が中止になっていますが、青空の下、澄んだ空気の中で思いっきり体を動かすことができ、子供達はとても満足した様子でした。



森林保護員への辞令交付
6月4日、令和2年度の森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ：通称「GSS」）への辞令交付が、当支署会議室で行われました。森林保護員は、夏山シーズンの6月から9月までの間、早池峰山周辺森林生態系保護地域の環境を保全するため、パトロールや登山者へマナー啓発、登山道や標識の補修などの活動を行います。

森林保護員4名に辞令を交付しました。

当支署では、5月26日（火）に、早池峰山の河原の坊登山道に設置しているシカによる食害から高山植物を保護するための柵のネットを張る作業を行いました。
これは冬の間、積雪に備えてたたんでいたネットを再び張る作業です。雪に引っ張られて、折れたり流されたりしていた支柱を交換・回収する作業も行いました。
今年は、昨年よりも1か月早く、雪融けと同時にネットを張ること



植生保護柵のネット上げ

足場の悪い岩場にネットを再設置する支署職員



令和2年度支署職員
ができたので、シカの食害に対する高い防止効果が期待されます。
また、今年度は、岩手県と三陸北部森林管理署が行う植生保護柵の設置作業にも当支署職員を応援に派遣して連携・協力に努めます。

総勢37名（定員内18名、事務系非常勤7名、現場系非常勤8名、森林保護員4名）

今年度もよろしくお願いいたします。